

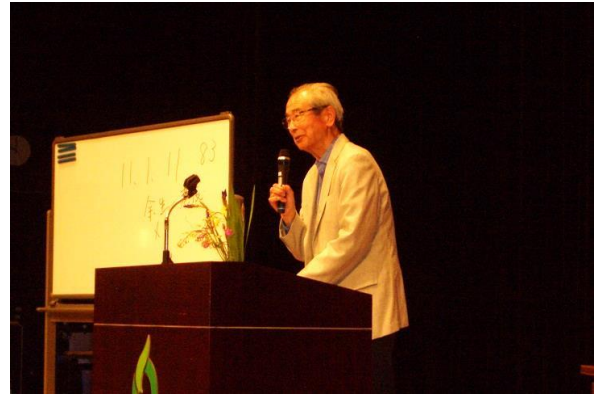
令和元年度「嬉野市かがやき大学」第2回講演会

5月10日(金) 9:30～10:30

於: 嬉野市社会文化会館(リハティ)

講師 敬徳高等学校理事 稲田 繁生 氏

演題 「政治と社会のうらおもて」 ～ 『平成』から『令和』へ ～



嬉野市民はもとより市外の方々も政治に対する関心が高く、多数の来場者がありました。稲田様のエネルギーで、ユーモア溢れる語り口に聴衆の皆さんも惹きこまれ、これからの社会に期待する想いを持って聴かれているようでした。

現在の社会を取り巻く現状には、様々な課題があります。昭和の時代と比べて、少子高齢化、情報化社会、経済の低迷などの生活環境の変化は、加速度的に顕著なものです。このことについて、具体的に分かりやすくご示唆をいただきました。

特に、三菱重工業の会長様の塩田工業高校の生徒とのエピソードは感動的なものでした。生徒の質問からお声かけをいただき、人生のご縁とそれを生かした青年の情熱が実を結んだお話に聴衆も心を魅かれたようでした。

また、「昭和」から「平成」への移行期と「平成」から「令和」へのムードには、大きな違いがあること、安倍首相の後継者、新天皇の披露宴やパレード、衆参同一選挙、外交の重要性、北方領土問題など、時事問題については、興味津々に聞かれているようでした。

令和の日本の課題として、働き手不足をあげられて、少子高齢化がさらに進むことへの懸念について、聴衆の方々も期待よりも不安が大きいと捉えられているようでした。近隣の高等学校でも定員割れが出ていることにも触れられ、きちっと育てることが大事だと言われました。

最後に稲田様からのメッセージでは、「外交、人口問題、皇室等にも興味関心を持ち、第1の目標として『令和1ケタを乗り切ろう』」と呼び掛けられました。聴衆の皆さんもこれからの指針と活力をいただいたことと思います。